



様式第10号(第14条関係)

令和7年6月5日

令和6年度持続可能な地域づくり団体支援寄附金実績報告書

鳥取県知事 平井 伸治

住 所 鳥取市鹿野町鹿野1422-1

団体名 NPO 法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会

代表者職・氏名 理事長 佐々木 千代子

令和6年度中に交付を受けた寄附金について、下記のとおり活用して事業を実施しましたので、持続可能な地域づくり団体支援寄附金交付要綱第14条第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

1 寄附金受入額 令和6年度合計 128,000円

2 添付書類

(1) 寄附金活用実績報告書<様式第10号の2>

(2) 寄附金活用収支決算書<様式第10号の3>

様式第10号の2（第14条関係）

令和6年度寄附金活用実績報告書

事業名	道具と古材の新たな魅力を発掘する yaraina プロジェクト
実施期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
事業内容 ※対象者の範囲や 人数、実施方法等を 具体的に記入。	本事業は、鳥取市内において、空き家の利活用に困っている所有者および鹿野町を訪れる地域内外の人々を対象に実施するものです。私たちは、空き家の利活用を通じて、地域の資源に新たな価値を見出し、鹿野をより魅力的なまちにすることを目指して活動しています。空き家を活用するにあたり、まず必要となるのが内部の片付けです。多くの家には思い出の詰まった品々が残されており、その中には鹿野らしさや時代性を感じさせる貴重な品も少なくありません。しかし、次の利用者のためには、家の中を空にする必要があります。 これまで、そうした「惜しいモノ」をできるだけ資源として活かすために一部保管してきましたが、保管場所には限りがあり、多くのモノをやむなく処分してきました。この現状を打開するため、地域資源の循環を本格的に推進する「yaraina プロジェクト」を立ち上げました。 プロジェクトでは、流通拠点としての古い木造牛舎を「yaraina」と名付け、その整備に取り組んでいます。拠点のコンセプトは「モノをつないで、まちがつながる。」過去から現在へ、人と人をつなぎ、未来へと地域をつなげる場所を目指しています。 この拠点整備を通じて、空き家の片付け時に出てくる地域のモノを新たな資源として活用し、訪問者や移住希望者にも地域の魅力を伝える機会を創出します。また、本プロジェクトに対する寄附金は、拠点改修やプロジェクト運営、団体活動の継続に活用させていただきます。

事業実施の 成果・効果 (見込み)	● プロジェクトの拠点となる yaraina の整備がほぼ完了した。 ● 空き家等の片付けに 6 箇所関わった ● 鹿野蚤の市や各イベント出店などを通して、古道具等に触れ合った人を 800 人創出した。 ● 古道具のアップサイクルへの取り組みをはじめた。
----------------------------------	--

※活用事業が複数ある場合には、事業ごとに作成、又は事業の内訳がわかるように記入すること。

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、その見込みを記載すること。

様式第10号の3（第14条関係）

令和6年度寄附金活用収支決算書

【収 入】

区 分	金額（円）	内 訳
支援寄附金	56,000 円	第一回交付分
支援寄附金	72,000 円	第二回交付分
自己資金	72,000 円	
収入 計	200,000 円	

【支 出】

区 分	金額（円）	内 訳
人件費	100,000 円	令和6年度4月分×1名（事務局運営作業）
人件費	100,000 円	令和6年度5月分×1名（事務局運営作業）
支出 計	200,000 円	

※支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費など、経理上の区分名で記載すること。